

平成 23 年度 第 3 回理事会 議事録

日 時：平成 23 年 10 月 24 日 場 所：日本医療福祉専門学校 8F

出席者：(敬称略)

稲垣 毅 (海南病院)、岩丸 陽彦 (刈谷豊田総合病院)、向 文緒 (中部大学)
新美 修治 (かなめ病院)、澤田 泰洋 (中部大学)、佐久間 大輔 (あさい病院)、
田口 真司 (日本医療福祉専門学校)：(以上理事)
堀部 恭代 (愛知医療学院短期大学)：(以上委員長)
吉田 慎一 (第 20 回 愛知県作業療法学会 学会長)
書記 磯貝 理栄 (日本医療福祉専門学校：事務局員)

報告事項

会 長：10 月 13 日・23 日 地域医療再生に関するワーキンググループ相談業務について
(出席者) 13 日 堀部先生 (愛知医療)、23 日 西村先生 (ジェネラス)
11 月 12 日 心の健康フェスティバル 式典出席予定
11 月 19 日 東海北陸作業療法学会 開会式出席予定
11 月 20 日 東海北陸支部長会議出席予定
12 月 15 日 電波学園創立 60 周年記念式典
12 月 18 日 第 2 回訪問リハビリテーション実務者基礎研修会 閉会式出席予定
第 22 回愛知県理学療法学術大会 後援名義使用について例年通り返答する予定

平成 23 年度教育部について

生涯教育推進委員 富山先生 (星城大学) に依頼

研修会に関しては、各分野担当者で進めていく

老年期：新美先生 (かなめ病院)、精神：朝倉先生 (共和病院)

代議員選挙 公募したが立候補者おらず、井出先生 (東名古屋) に依頼

副会長：なし

事務局：今月初旬、中部経済産業省より事務局に連絡あり。ことで説明を聞いた。中部はものづくりの町であるため、地域の活性化を図るために中部地区でコメディカルカフェを開催したいとのこと。福祉用具は海外より輸入が多く、日本人の体に合わないなどあるため、福祉用具分野で地域の活性化を図る方針。中小企業やデザイナーなども含め、コミュニティーを作っていく。1 回目の取り組みとして、11 月 22 日、「日中福祉用具シンポジウム」開催。会員に周知してほしいと依頼あり。HP に掲載する。

会費 500 人程未納。450 名今年度、50 名 2 年間未納。督促開始する。

広報部：ニュース発行した。外部に委託するため、タイムラグが発生している。
HP は数日以内に更新している。

学術部：第二回研修会について、企画・運営の詳細計画が確定。長野県看護大学 阿保先生に決定。
前回発行の県士会ニュース、ホームページに広報済み。徐々に応募を頂戴している状況。

教育部：現職者選択研修 老年期企画決定。県士会、協会への広報の連絡済み。
現職者共通研修 講師の怪我により急遽日程変更となった。10 月 2 日→11 月 20 日に変更。
申込者 40 名程には電話連絡を行った。

財務部：特になし。

保険部：11月12日に情報交換会を予定している

福利部：特になし。

作業療法推進事業委員会：11月30日 熱田福祉フェア参加。2名参加予定。
決定次第、公文書発送する。

規約委員会：特になし。

表彰選考委員会：次年度学会時の功労表彰の依頼がきている。

選挙管理委員会：次年度改選。次回理事会に選挙管理委員出席を依頼する。

法人化準備委員会：検討事項にて

都道府県連絡協議会：協会の組織図より外れる予定。

支部会：東海北陸の座長依頼あったが、担当県士会が行う事となっている旨返答した。今後、同様のことがあれば、支部会の議事にあげていく。

機関誌編集委員会：9月末に投稿の締め切り→11題の投稿あり。現在は査読工程を進めている

第20回県学会 学会長：別紙あり

検討事項

会長：代議員選挙 立候補者 11月1日締め切り。定数未満の県士会は直接会長に推薦者を出してほしいと依頼がくる予定。10月29日までに推薦者を出してほしいと依頼あり。

10月24日 HPにて立候補状況の中間報告がある。

総会は学会とは別日程。交通費は協会負担。

代議員が県の代表として意見を述べられるよう、県士会が協力していく。HPで会員の意見を吸い上げられるようにするなど検討する。本来は各地区や分野別で代議員が分かれているとよいが、今回は時間的な余裕が無いため、県士会理事より候補者をあげていく。立候補状況により、理事より推薦者を選ぶ。

第21回愛知県作業療法学会 学会長 大同病院老人保健施設 豊田佳津江先生⇒承認

副会長：特になし

事務局：協会などからの添付ファイルが新しいバージョンでくるため、対応ソフトを購入して良いか？⇒承認

広報部：特になし

学術部：特になし

教育部：現職者選択研修 精神分野の確認未定。実務（印刷、謝礼など）の対応をどうするか？
会計を誰がやるか？⇒各分野担当者が会計を行う。

財務部、事務局にて教育部の残金状況を確認し、事務局より各担当者へ振り込みを行う。

財務部：補正予算申し出ないため、補正は組まない。

保険部：特になし

福利部：特になし

作業療法推進事業委員会：特になし

規約委員会：特になし

表彰選考委員会：特になし

選挙管理委員会：特になし

法人化準備委員会：定款は11月に作成予定。定款作成上で以下の確認事項がある。

① 事務局の場所をどうするか？

（定款に載せるところと実際に活動するところは違っていても良い。愛知県〇〇市まで
愛知県弥富市

② 法人化の時期をどうするか？

(税理士の方からは「希望をまず出してください」と言われた。(書面で).
⇒愛知県学会と同時に解散、法人化が望ましい。文書は澤田理事が作成する。
会員が入会する際の手続きは現在、確認中。
総会の成立要件の変更可能か確認する。

③ 各部署や委員会事業内容、活動の記載をお願いします(資料別紙).
(税理士の方と今後の業務を整理するために必要です.)

11月中旬に各委員会で作成する。

④ 各部署・委員会の方へ、今後の定款作成のため次回までに事業と部署、委員会の整合性を考えておいてほしい、(その上で次回にはそれを検討したい)

例：学術部に機関誌編集があるのに、機関誌編集委員会が別にあるなど矛盾あり。

都道府県連絡協議会：特になし

機関誌編集委員会：特になし

第20回県学会 学会長：

① ポイント発行の控え(一覧)は必要か？

⇒不要

② 査読依頼、返信に関して、論文をどのような方向で発送すれば良いか

⇒全て書留にてやり取りを行う

その他：

訪問リハ連絡協議会開催(県士会協賛)にあたり、お金を借りられるか？

⇒愛知県士会として出資は問題なし。元手のみ出資し、売上として入金してもらおう。委員会として組織に組み込むように検討する。(案：渉外部)。

法人化にあたり、会員の声を集約する必要がある。アンケートはとっているのか？回収率が悪い場合を考え、SIGでアンケートを取るなど考えるか？

⇒全体にアンケートを送付し、返信をSIGで呼びかけたらどうか？特定のSIGでは、意見の偏りが出る可能性がある。

⇒福利部、教育部はそれぞれで企画に対するアンケートをとっている。

県士会に対する要望を聴取したい。各部会の活動内容を見直していく上で、必要である。

⇒アンケートを実施するには、聴取内容案の作成等準備が必要。時間的に法人化までに行なう事は困難ではないか。どのようにアンケートを作成していくか検討が必要。まず、各部会で1つずつアンケート案を考える。